



おとがわ



ふお～ゆ～

校長室だより

第 39 号

R3.12.10

文責 中西 勉



専門家から学ぶ ～【3年】給食センターの方に話を聞く会～

先週<12月3日(金)>、3年生が「総合的な学習の時間」に「給食センターの方に話を聞く会」を行いました。その会では、東部学校給食センターの後藤様と大島様をお招きして、給食をどのようにして作るのか、給食をどんな思いで作っているのかなどについて教えていただきました。3年生の子供たちは、この日までに東部学校給食センターの施設見学も終えており、お二人の話を聞くことで、さらに給食についての学びを深めることができました。そして、給食を今まで以上に感謝して食べることや、給食を残さないようにすることなど、子供たち一人一人が思いを新たにしました。

このように、ある物事について深く学ぶためには、やはり直接その道の「専門家から学ぶ」のが最も効果的です。これまでコロナ禍で控えていたこうした貴重な学びの機会を、今後はより多く設けていきたいと思えます。

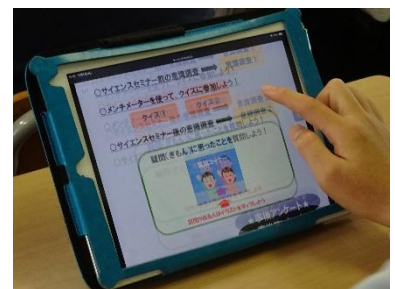


▲調理員さんの服装について学ぶ3年生



オンラインで学ぶ「おかざきッズ サイエンスセミナー」

今週<12月7日(火)>、5・6年生が市教育委員会主催の「おかざきッズ サイエンスセミナー」に参加しました。このセミナーは、タブレットを活用してオンラインで行われ、市内小学校91学級の子供たちが一斉に、岡崎自然科学研究機構 生理学研究所の北城圭一先生の話の話を聞きました。「脳の中にはリズムがある?～体の中のふしぎな話～」と題して行われた北城先生の話は、脳がどのように情報をやり取りしているのかなどについて、実験や映像を交えながら進められました。小学生にとって、内容は高度でしたが、二つの点が単純に入れ替わるだけなのに、それが縦や横に動いて見える「仮現運動刺激」の話には、子供たちは驚きの声を上げて真剣に見入っていました。



▲タブレットでクイズに参加

今回、オンラインで多くの子供が同じ内容を同時に学ぶことができたことは、大変喜ばしいことです。このようなオンラインによる学校の垣根を越えた学びが、今後も市内で広がっていくことに期待が高まります。他校の子供たちとオンラインで交流する授業が普通に行われるようになる日は、そんなに遠くないようですね。



▲脳の知覚について興味深く学ぶ5年生